

| | | | |
|-------|---------------------|-------|------|
| クラス番号 | 918 | 担当教員名 | 小林勇人 |
| テーマ | 企業中心社会から福祉中心社会への大転換 | | |

ゼミナール概要

■目的、内容、方法等：

本ゼミの目的は、以下の3点です。

- ① 基礎的な「読み」「書き」の技法と「報告」や「討論」の技法を習得する。
- ② 社会問題とその背後にある社会システムについて理解する。
- ③ 社会問題を解決するための課題を把握し、政策的・実践的な提案を行う。

具体的な内容は、以下の3点です。

- ① 労働問題や失業・貧困問題、いじめや教育問題、さらには難民問題などの社会問題について知り、
- ② 社会問題の背後にある社会システム（資本主義やグローバリゼーション、福祉国家など）を理解し、
- ③ 社会問題を解決するための政策的・実践的な提案（社会運動、社会保障、ボランティア、NGO、NPOなど）を行う。

方法は、以下の3段階です。

- ① 教科書を丁寧に「読む」とともに要約を「書く」ことで、社会問題と社会システムについて理解する。
- ② 各自の関心のあるテーマを自由に選択してもらったうえで、それらを集約しながらいくつかのグループを作り、グループ毎にテーマを決定する。
- ③ 各グループのテーマについて、文献の読解やフィールドワークを行い、具体的な問題・課題・解決策を「報告」してもらい、クラス全体で「討論」を行う。

■授業計画：

<前期>

授業前の毎回の宿題として、教科書の指定した部分を読んで要約してきてもらいます（教科書はみなさんと相談して決めます）。毎回の授業では、その要約をもとに、前半で要約の仕方や内容について話し合い、後半で全体討論を行います。これらを通して、後期のグループワークのテーマ選びに繋げていきます。

<後期>

個人で選択した研究テーマについてレポートを提出してもらいます。またグループのテーマについて、グループワークを通して報告してもらい、クラス全体で討論を行います。

担当教員からのメッセージ

様々な現場における社会問題を、その背後にある社会システムを通して理解することによって、多様な問題に共通する構造や仕組みが見えてくるようになります。またそれらの共通性との対比で、各問題に固有の状況や特徴も浮かび上がってきます。

社会問題を解決し、福祉を重視する社会を実現するためにはどうしたらいいか、みなさんと粘り強く考えていきたいと思います。これはおかしい！ という問題意識を重視したいので、新聞や雑誌、TV、ドキュメンタリーなどを通して、社会問題への関心を広げておいてください。